

## 事務局より

年度末のこととて、みなさま御多忙のことと存じます。予定より少し遅れましたが、「研究通信」No.56をお送りいたします。

ごらんのように、今秋の村研大会の共同課題が確定しました。そして、共同課題確定にいたる討議の内容が、くわしく、生きいきと伝えられております。この記録は中野卓委員の御尽力によるもので、大会のもち方にかんする山岡・後藤両委員の御提案(本号五ページ)の実現への努力がなされるのとあいまって、今秋の大会の成功のための一つの礎石がおかれたのではないかと考えております。講題について、会員各位のそれぞれの場所で、研究・討議が深められ、これが本誌上に反映されていくであろうことを期待いたしております。

それから、第二回運営・編集合同委員会の第一議題(2)のように、村研年報の「研究動向」の執筆を担当される方の御便宜のために、今後、論文の抜刷ないし論文題名・書誌名・巻号を編集委員会の方にお送りいただくことになりました。とくに、各大学での研究紀要類に御発表になつたものは、入手困難なばあいがありますので、御協力いただきたいと思います。今年度の分については、原稿の方の〆切りが五月末日ですので、遅くとも四月中旬位までに、お知らせ願えれば幸です。

御多忙の折から、みなさま御自愛下さいますようお願いいたします。